

平成26年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

主体と環境(世界)とのかかわりについて、以下の資料をふまえて、あなたの考えを1,000字以上1,200字以内で論じなさい。

その際、次の①～⑥の全ての語を必ず1回以上使いなさい。

①「主体」、②「環境」(または「世界」)、③「知覚」(または「認識」)、④「行動」、⑤「人間」、⑥「社会」

また、①～⑥の各語を初めに用いる時には、下線を引くこと。

資 料

非公開

図 イソギンチャクとヤドカリ

非公開

(出題者注)

環世界：「環境世界」ともいう。それぞれの主体が環境の中に意味を与えて構築している世界のことを、ユクスキュルは「環世界」と呼んだ。それは客観的な「環境」とはまったく異なるものである。(以上、日高敏隆「訳者あとがき」、164～165ページによる。)

(ユクスキュル／クリサート著、日高敏隆・羽田節子訳、『生物から見た世界』、岩波書店、2005年、88～90ページ、164～165ページ、口絵、抜粋・一部改変)

平成26年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

出題の意図

資料は、ヤドカリが、異なる三つの条件の下で、イソギンチャクをどのようなものとして知覚（認識）し、どのように行動するかを示している。この場合、主体はヤドカリであるが、全く同一の主体が、置かれた状況に応じて、同じイソギンチャクをまったく異なるものとして知覚し、まったく異なる行動をとっている。

これは、きわめて単純な海の生き物の環境認知と行動を示した事例であるが、人間の環境（社会、世界）の知覚（認識）、そして行動（選択）、問題解決を考える上でも大きなヒントとなる。

本問題は、人間科学科のアドミッションポリシーに基づき、「主体と環境の関係」について、複眼的思考力や論理的考察力をみようとすることである。